

竹田維持だより

2012年10月1日
国土交通省
佐伯河川国道事務所
竹田維持出張所
第 10 号

元気な竹田市をアピール！

九州北部豪雨の影響で通行止めとなっていた国道57号滝室坂が開通（仮橋）し、竹田市「道の駅すごう」でイベントが開催されました。



九州北部豪雨の影響で通行止めとなっていました。国道57号滝室坂が8月20日に開通（仮橋）したことをうけ、翌日、感謝の気持ちと早期の本格的な復旧を願う竹田市主催のイベントが「道の駅すごう」で開催されました。竹田市は被災した滝室坂の通行止めに伴う迂回ルートの影響で、市内の国道を通る観光客の流れが激減し、市内観



笑顔でカボスを来客者にふるまう首藤竹田市長



損傷した高欄(国道57号桜瀬橋)

光や農産物の販売に影響が出ていました。首藤竹田市長は、「予定よりも早く開通してくれてとても感謝している。これからは竹田市を元気に広くPRしていきたい。」と意気強く語るなど、市長自らが笑顔で来客者に竹田市特産品「カボス」を振るまう姿がとても印象的でした。

国道57号の被災復旧道なかば……

九州北部豪雨は、竹田市内を通る国道57号にもさまざまな爪あとを残しました。その一つが氾濫した玉来川に架かる桜瀬橋の損傷です。



坑口部の小崩落(国道57号三砂トンネル)

当時、激流と化した玉来川の濁流が、桜瀬橋から浸水して国道を冠水させました。橋本体への影響はあまりありませんでしたが、高欄が流木との衝突で損傷し、その姿は当時の激流の勢いを物語っています。国交省ではこの高欄を年内を目処に取替える予定で、近くにある扇森稲荷神社へ年始詣にお客が訪れる前までには完了できるように進めてまいります。

そのほか竹田市内では、渡瀬地区の国道で路肩が崩落したり、三砂トンネル坑口付近の土砂が小崩落するなどの被害が発生しました。いずれも応急復旧を完了していますが、一日も早く本復旧ができるよう目指していきます。

豊後大野市

防災工事

朝地町板井迫地区の 法面補修工事に着手

朝地町板井迫地区では、国道57号の法面補修工事が始まっています。この法面は岩盤に亀裂や剥離（はくり）が発生しており、崩落の危険性が高まっている箇所です。専門家による調査をもとに対策工を決定し、現在、補修工事を進めています。工事の完了は10月末ですが、**期間中は交通規制に伴い地域の皆様に変化ご迷惑をおかけします。ご理解・ご協力をお願いします。**



法面の亀裂状況
(国道57号朝地町板井迫)

豊後大野市

要望相談の紹介

歩道に苔が繁殖

大野町田中南地区の自治委員より、「歩道部分に苔が生えている」という相談がありました。現地はバス停のある歩道部で、水が裏山からじわじわ滲み出ている状況でした。「冬場は凍結することもあり歩行者が転倒したこともある。」という相談を受け、早速、歩道にはびこる苔の除去や排水処理の対応をさせて頂きました。



要望の対策状況

今後も引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら道路行政に反映していきます。まずは、**お気軽にご意見をお寄せ下さい。**

竹田市

戸上で道守活動

2年目を迎える マツバギクプロジェクト

竹田市戸上にある七ツ森交差点付近の国道沿道で10月3日、道守会員の皆様「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会、(株)高山組と国交省職員らで、**マツバギクの苗植えと清掃活動を実施しました。**この活動は昨年6月に開催された道守会議(竹田地区)で提案されたプロジェクトで、竹田方面へ来る観光客をもてなそうと、道守会員やボランティア団体たちが考案したものです。秋晴れの中、道守会員らはさわやかな汗を流し熱心に活動していました。



マツバギク



苗植えをする道守会員(国道57号竹田市戸上)

私たちは、道路を安心・安全・快適に利用できるように地域住民の皆さまと向き合いながら維持管理を進めてまいりたいと考えております。ご意見・ご要望などございましたら、

お気軽に竹田維持出張所までお問い合わせ下さい。

住所：竹田市大字玉来字上の迫1162-2

電話：0974-63-2542

